

# 人口減少社会における発想の転換

～官民連携の必要性と事例～

佐久広域連合 時局講演会



Glocal Government Relationz 株式会社

代表取締役 吉田雄人

2024. 12. 13

# 自己紹介

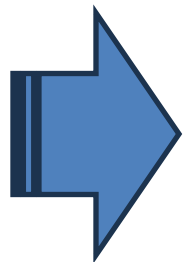
神奈川県立横須賀高校  
早稲田大学政治経済学部政治学科  
アクセンチュア株式会社（約3年間）  
早稲田大学大学院政治学研究科  
修士課程（政治学専攻）  
横須賀市議会議員（6年間）  
横須賀市長（8年間）



一般社団法人 日本GR協会 代表理事  
Glocal Government Relationz株式会社 代表取締役  
早稲田大学環境総合研究センター 招聘研究員  
認定NPO法人なんとかなる 共同代表

今日聞いてくれている皆さんが、、、

- 人口減少社会では、「発想の転換」をしないと生き残れないことを認識する
- 「官民連携」で地域課題の解決が前進することを実感する
- 官民連携の手法の事例を学ぶ



**課題先進国『日本』の佐久地域を  
課題解決先進地域にしてくれる！**

## 第1部

- ・横須賀市における「発想の転換」

(休憩)

## 第2部

- ・官民連携による「発想の転換」

## ＜第1部 横須賀市における発想の転換＞

- 1 人口減少による経済的危機の予感
- 2 里山資本主義と「発想の転換」
- 3 横須賀における発想の転換
- 4 観光推進における発想の転換

## <第1部 横須賀市における発想の転換>

- 1 人口減少による経済的危機の予感
- 2 里山資本主義と「発想の転換」
- 3 横須賀における発想の転換
- 4 観光推進における発想の転換

## 転出超過数 日本一

(転出数－転入数)

平成25年 1772人

総務省 平成26年1月30日公表

強い危機感



日本一からの挑戦



# 発想の転換の必要性

## <問題意識 その1>

横須賀の**街の良さ**が**伝わっていない**のでは？

⇒**対外的な発信・ブランディングが必要**

## <問題意識 その2>

**減少**した人口の消費分を**来訪者**で補えないか？

⇒**観光消費で、これまでの経済活動の量を確保することが必要**

## <問題意識 その3>

**ハコモノ**に頼らない町おこしはできないか？

⇒**ないものねだりではなく、あるものを活用することが必要**

## <第1部 横須賀市における発想の転換>

1 人口減少による経済的危機の予感

**2 里山資本主義と「発想の転換」**

3 横須賀における発想の転換

4 観光推進における発想の転換

# 里山資本主義が世に出た背景

2013年「里山資本主義」出版

←2008年リーマンショック

←2011年東日本大震災



藻谷浩介 (撮影=青木優佳)  
日本総合研究所  
調査部主席研究員



# 里山資本主義とは何か？

里山資本主義とは、日本古来・自然由来のものに新たに交換可能な付加価値を与えて、地域内で循環させる仕組み。

海・山・川などの自然、地域における人間関係など、お金では買えない資産を大切にし、テクノロジーの活用やUターン・Iターン人材による新規事業の立ち上げ、女性の活躍、6次産業など、それぞれの地域で展開される規模の大小にこだわらない経済活動。

里山資本主義も資本主義の一種：

オリジナルよりも持続可能性が高く、リスクにも強い。

里山資本主義者は、お金も稼いで使うが、金銭換算できない価値をも重んじ、**お金頼みの部分とお金に依存しない部分のバランス**を追求する

(2018.5 藻谷浩介氏講演資料より)

# 「マネー資本主義」と「里山資本主義」

(藻谷浩介氏講演資料・一部改変)

## マネー資本主義

## 里山資本主義

動機

ナンバーワンになりたい

オンリーワンになりたい

目標

お金儲けの一番を目指して  
際限なく稼ぎ、貯め込む

かけがえのない存在になる  
= 稼いでは回しボタンをつなぐ

戦略

他者/他集団から奪い取る  
≡ 奪い合い

できるだけ自給自足する  
≡ 分かち合い

未来/次世代から搾取する  
← 簿外資産を浪費して蓄財する  
(地下資源、水、土壌、大気、子供、絆...)  
← 借金や汚染物質を後世に残す

未来/次世代から借りる  
← 使ったものは  
利子をつけて元に返す  
← 何万と清浄な環境を残す

手法

等価交換 / 金融投資  
自由競争/リスクの個人化

物々交換・贈与 / 実物投資  
協働 / リスクの社会化

## <第1部 横須賀市における発想の転換>

1 人口減少による経済的危機の予感

2 里山資本主義と「発想の転換」

**3 横須賀における発想の転換**

4 観光推進における発想の転換

# 市民のもつ横須賀の都市イメージ

出典：基本計画策定のための市民アンケート報告書（平成20年9月）

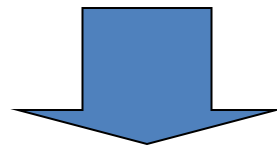
- ① 米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」 84.6%
- ② 首都圏の「ベッドタウン都市」 30.1%
- ③ 海と緑を求めて市外からも人が訪れる  
「レクリエーション都市」 29.2%

市民にとっても横須賀は  
「軍港・基地の街」

【今まで】

~~基地のイメージの“払拭”~~

“基地”や“艦船”が写った写真を広報には使わない  
“基地施設”（旧EMクラブ）の建て替え など



“失敗”“払拭できず”

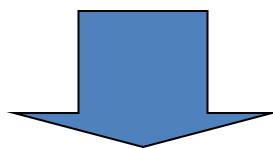


【これから】

基地を積極的に“アピール”

横須賀の“知名度”を上げている

“基地”をアピールしないのは「もったいない」



“マイナス”イメージを“プラス”に

基地資源をアピールした“新たな都市資源の創出”

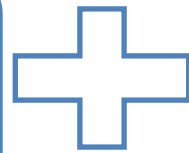
## <第1部 横須賀市における発想の転換>

- 1 人口減少による経済的危機の予感
- 2 里山資本主義と「発想の転換」
- 3 横須賀における発想の転換
- 4 観光推進における発想の転換**

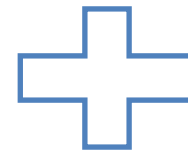
- 1 よこすか海軍カレー
- 2 横須賀軍港めぐり
- 3 横須賀グルメ（ヨコスカネイビーバーガー）
- 4 米海軍基地開放イベント
- 5 サブカルチャーへの取り組み
- 6 ドル街横須賀

# 1 よこすか海軍カレー

横須賀市



海上自衛隊  
横須賀  
地方総監部



横須賀  
商工会議所

カレーの街よこすか  
推進委員会 事業者部会

横須賀 = 海軍  
「払拭」から「活用」へ発想の転換

行政・海上自衛隊・商工会議所が  
三味一体の組織で、ブランド管理体制を確立・推進

# 1 よこすか~~海軍~~カレー 海自（海上自衛隊）

海上自衛隊横須賀地方総監部の協力により、  
護衛艦・潜水艦等の独自のレシピを  
市内のカレー店が忠実に再現



提供する店舗は、  
その護衛艦等の艦長から  
認定証が授与

市内の16の店舗で  
23種類の「よこすか  
海自カレー」を提供



## 2 横須賀軍港めぐり



横須賀 = 軍港  
「払拭」から「活用」へ発想の転換

横須賀でしか見れないと人気！  
週末は予約で満杯に



# 3 横須賀ネイビーバーガー

米海軍伝統の味。牛肉100%のビッグでシンプルなハンバーガー！

## YOKOSUKA NAVY BURGER

ヨコスカネイビーバーガー



横須賀 = 米海軍  
「払拭」から「活用」へ発想の転換

ヨコスカネイビーバーガー誕生！

# 4 米海軍基地開放イベント

春  
スプリングフェスタ



ワシントンの桜

35,200人

夏  
ネイビーフレンドシップデー



米軍基地から花火

45,000人

秋  
よこすかみこしパレード



米軍神輿

22,000人

計 **100,000人** 以上の集客！

横須賀 = 米海軍  
「払拭」から「活用」へ発想の転換



# 5 サブカルチャーへの取り組み

アニメ、ゲーム等のサブカルチャーを  
 市をあげて応援する・・・！



今まで取り上げていなかった  
 横須賀にちなんだアニメ・  
 ゲーム等を題材にして

- ・ターゲットを絞り
- ・匂を逃さず
- ・費用対効果高く  
 集客促進に繋げる・・・

これも**発想の転換**なんです！

(趣味とかそういうものではありません)

## 第1部

- ・横須賀市における「発想の転換」

## 第2部

- ・官民連携による「発想の転換」

## <第2部 官民連携による「発想の転換」>

- 1 官民連携の必要性
- 2 官民連携で解決が進んだ具体事例
- 3 自治体と関わるには？
- 4 首長をその気にさせる3ヶ条

# 課題の多くは21世紀から . . .

例えば . . .

- 福祉 : **一人暮らし高齢者の見守り**、障がい者自立支援  
医療・介護予防、国民健康保険会計の健全化
- 都市 : **空き家・空き地対策**、中心市街地活性化、再開発
- 教育 : 英語教育・**プログラミング教育**、放課後児童対策
- 子育て : **待機児童対策**、ひとり親支援、児童虐待防止、
- 土木 : 道路・トンネル・橋などの老朽化・耐震化
- 産業 : 企業誘致、ベンチャー支援、海外進出支援
- 防災 : 大規模災害対応、**高層マンション防災**、想定外対応
- 環境 : 地球温暖化対策、自然エネルギー活用、リサイクル
- 総務 : 情報セキュリティ対策、コンプライアンス対応、  
. . . などなど

# 多くの課題は社会構造の変化から

一昔前には存在しなかったが

**社会構造の変化**によって生じた**課題**

高度  
資本主義化

少子化  
高齢化  
多死化

政治の  
流動化

市民ニーズの  
多様化

災害多発

**社会全体で解決しなければいけない課題**

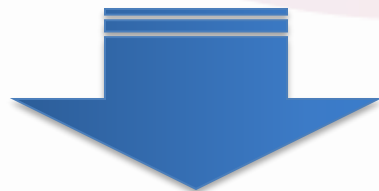
**今までの方法論では解決できない課題**

だから  
**官民連携が**  
必要

# 官民連携が必要とされる背景

「**行政**」だけで解決できる課題であれば、すでに解決されているはず。今ある課題は、行政だけでは解決できないから顕在化した。**行政の三重苦**（**財政不足・人材不足・ノウハウ不足**）が原因。

「**民間**」の持っているサービスは**社会課題解決に役立つ**ものが多い。しかも社会課題の中に**ビジネスのシーズやニーズ**を見出すことができる。



良質で戦略的な官民連携が  
求められている。

## GRとは（Government Relations）：

### 社会課題解決のための

政治／  
行政／  
公共団体



民間企業／  
NPO／  
業界団体等

## 政治行政との関係構築の手法



## <第2部 官民連携による「発想の転換」>

- 1 官民連携の必要性
- 2 官民連携で解決が進んだ具体事例**
- 3 自治体と関わるには？
- 4 首長をその気にさせる3ヶ条

- 第一次産業（農業）の振興
- 観光地のラストワンマイルへの対応
- 業務の効率化
- 災害時の人材不足

## ・ 第一次産業（農業）の振興

自治体の  
想い



地元産品をブランド化させ、生産者の所得向上と、流通や小売・飲食における付加価値向上を図りたい。



←日本野菜ソムリエ協会と山形市との「自治体パートナー協定」締結式をGGR社がアレンジ。「野菜ソムリエ」の資格取得支援と、資格を持つ市民のコミュニティの立ち上げを図り「山形野菜」の市内外への発信とブランド強化を目指した。

## ・観光地のラストワンマイル

自治体の  
想い



駅に降り立ってから、見どころまでの交通アクセスがない。観光客が周遊しない。



←電動キックボードを用いた公共交通のあり方を自治体と一緒に検討していくための連携協定を、GGR社のコーディネートで、締結した。

公道を走れない規制はあるものの、市有地での実証実験を通じて、観光客や市民へのモニタリングを行える。

# 事例紹介

## ・業務の効率化

自治体の  
想い

テクノロジーの進化を市役所  
業務の効率化に役立てたい。

←市役所内で発生する定型化されている事務作業を、RPAソフトベンダーのUiPath社と開発ベンダーのチェンジ社をGGR社が連携させて、奈良市へ提案。全国で4例目、県内初ということで記事化された。

### AIがデータ入力など事務サポート 奈良市

### 本年度 自治体では先駆的

奈良市は26日、行政改革の一環として、人的作業の効率化や紙ベースの業務をAI技術を活用してデータ化する運用に移行するなど、民間で先行するRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を行政事務に活用する実証実験を民間事業者と共同で本年度実施すると発表した。5月から2カ月程度、行政事務のどの分野が同事業になじむのか、適正性を検証し、職員研修を進め運用を開始する。

RPAはパソコンのキーボード操作を自動化するソフトウェア。AIが代替、データ入力や情報チェックなどの業務をサポートする取り組み。金融機関など民間で活用が広がっており、奈良市によると同自治体は、奈良市と民間事業者との間で、RPA導入による事務作業の効率化を進め、時間外手当ての削減を図る考えを示した。

奈良市では庶務事務などICTを活用したシステム導入で効率化を進めてきたが、依然

# RPAの実証実験

## 効率化図る



として使われている人本を導入にかけた検討的作業やデータ入力、チェック、文書作成などRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を行政事務に活用する実証実験を民間事業者と共同で本年度実施すると発表した。5月から2カ月程度、行政事務のどの分野が同事業になじむのか、適正性を検証し、職員研修を進め運用を開始する。

民間比べて進んでおり、この動きが広がれば大きい経済効果が生まれる。その最初のモデルとして現場を開放し、国全体に密着できたら、行政も体質改善が急務だ」と述べた。奈良市長は来年度以降に本格導入すること



## ・ 災害時の人材不足

自治体の  
想い



災害時に、手に職を持っているプロフェッショナル人材の確保を、平時からできるようにしておきたい。

← 埼玉県横瀬町富田町長と、建設業人材のマッチングアプリを開発する「助太刀」社との災害時の対策応援協定の締結式の様子。

## 日本経済新聞

トップ 速報 マネー 経済・金融 政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際 オピニオン スポーツ 社会・暮らし

### 助太刀と埼玉県横瀬町、災害支援で連携

スタートアップ [+フォローする](#)

2021年1月28日 9:00 [有料会員限定]

保存



建設業の人材マッチングアプリを手がける助太刀（東京・渋谷）は埼玉県横瀬町と災害時の復旧支援で協定を結ぶ。台風や地震が起きた際に、横瀬町の建設事業者は助太

## <第2部 官民連携による「発想の転換」>

- 1 官民連携の必要性
- 2 官民連携で解決が進んだ具体事例
- 3 自治体と関わるには？**
- 4 首長をその気にさせる3ヶ条

# 自治体と関わる起点

## 行政から

市長によるトップダウン、現場職員からのボトムアップ

## 議会から

議会としての提案、議員個人からの前向き／後ろ向き提案

## 地元関係者から

商工会議所、連合町内会、医師会、、、、

## 民間事業者から

地元／市外事業者による営業活動、既存事業の延長線

## 市民から

市民公益活動団体、スポーツ・文化団体、いち市民



## その地域ならではの地域課題を見極める

### 横須賀市の課題について 19項目 (冒頭抜粋)

最大の課題: 人口減少 (社会減少: 転出者と転入者の差)  
(自然減少: 死亡者数と出生者数の差)

大きな課題: 社会保障費の増加  
税収の伸び悩み  
住む街として認識されない都市イメージ

#### 1. 空家対策

市内には28,830戸の空家があります。空家はそのままにしておくと、風雨などによって、建物が痛み、倒壊する恐れが出てきます。市役所では谷戸(※)地区限定で「空き家バンク」を実施していますが、まだ十分とは言えません。また、高度成長期に大規模な宅地開発がされた地域でも、歯垢はのように空き家が増

## <第2部 官民連携による「発想の転換」>

- 1 官民連携の必要性
- 2 官民連携で解決が進んだ具体事例
- 3 自治体と関わるには？
- 4 首長をその気にさせる3ヶ条**

# 首長をその気にさせる提案3か条

## 首長の問題意識を把握すること

⇒ 選挙の際の公約やマニフェスト、あるいは地方新聞などで記事になりやすい案件を把握しておくことで政策的な連携が進みやすい。

## 全国1位とか県内初とか

⇒ 話題性やニュースバリューをしっかりと追及しておくことで、取り組みやすい。特に首長は「一番」が大好き。

## 無料の提案とすること

⇒ 予算が絡んだ瞬間に、膨大な雑務が生じる。実績を作るとか使い勝手を知ってもらうなどのメリットがあれば、投資と考えて1年間くらいは無料でおつきあひする。

**発想の転換なくして  
社会課題解決なし**

**社会課題解決なくして  
危機の脱出なし**

**危機感なくして  
地域の未来なし**